



新年あけまして おめでとうございます

町民の皆様にかかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、『文化の香り高く、

小さくともいきいきとした小鹿野町の創生』に向けた町政推進に対し、日頃より温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ウィンタースポーツの祭典である平昌(ピョンチャン)オリンピック・パラリンピックが開催され、華々しい印象がある春から一変して、大阪北部地震や北海道胆振(いぶり)東部地震、全国的な酷暑、複数の台風が日本に襲来し西日本豪雨に代表される大雨を引き起こす等、全国各地で様々な災害が発生いたしました。町においても災害対応や防災対策について深く考え、実践する機会がたいへん多くございました。このような経験は、以後教訓としてしっかりと活かしてまいりたいと存じます。

そして、新しく迎えた新年であります。5月に新天皇が即位され『平成』から新しい元号への改元があり、10月には消費税が増税されるなど、国として大きなターニングポイントが予定されています。

さらに地域等の情勢を鑑みますと、秩父地域の観光事業に対する注目の高まりや2020年の東京オリンピック・パリ

ンピック開催が予定される中で、外国人を含めた観光客の皆さんを迎えるため、おもてなしの質の向上とグローバル化に対する必要性が高まっています。町といたしましても、こうした大きな情勢に対して広くアンテナを張り、順応していかなければなりません。

また、現在町では少子化の進行や厳しい財政状況などの課題が山積している状況にあり、持続可能な小鹿野町の未来を創造するためには、一片の余裕もない状態と分析しています。

このため、町政懇談会等におけるご意見・ご提言や小鹿野町政策審議会からの答申、町に対する要望等の皆様の声を糧として、次年度の事業展開に向けて準備を進めているところでございます。また予算編成においては、事業の優先性、重要性、費用対効果等を十分検証し、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう職員に対し指示をいたしました。この成果が実感できる良い年とするべく今後も一所懸命励んでまいりたいと存じます。

さて、迎えた2019年の干支は、亥(いのしし)でございます。本年も引き続き、目標に対し真摯に向き合い、『町民ファースト』の信念のもと、町民の皆様とともに町政に邁進することをお誓いいたします。

結びに、平成31年の年頭にあたり、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

平成31年元旦 小鹿野町長 森 真太郎

『小鹿野町政策審議会』 第1次答申を行いました

小鹿野町政策審議会(小松征三会長)は、町長の意思決定に際して専門的な立場から特別な事項を調査・審議する合議制の機関として設置されました。

昨年の3月22日に「産業振興の活性化について」の諮問を受け、6回の会議を重ね11月21日に町長へ、第1次答申を行いました。



問合せ●小鹿野庁舎・総務課☎75-1221

尾ノ内百景(冷っけえ〜) 氷柱2019オープン!!

冬の小鹿野町で、一番の賑わいの観光名所『尾ノ内百景(冷っけえ〜)氷柱』の準備が、地元関係者の皆さんにより、着々と進められています。

また、今年も氷柱の隆盛に合わせた『氷柱交流会』を開催します。地元や商工会青年部が出店し、地域の味覚やお土産等が並びます。氷の彫刻実演や氷柱のゆるキャラ“つらん”とその仲間たちも出没し、イベントを盛り上げます。寒い冬の暖かいおもてなしをどうぞお楽しみください。



・・・尾ノ内百景(冷っけえ〜)氷柱2019・・・

期間●1月6日(日)~2月末頃

※氷の状態により変更される場合があります。

時間●8:00~16:00

入場料●中学生以上200円(環境整備協力金)

・・・氷柱ecoライトアップ!!・・・

期日●1月26日(土)、2月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土)

時間●日没~20:00

・・・尾ノ内氷柱交流会・・・

日時●1月27日(日)10:00~15:00

問合せ●西秩父商工会☎75-1381

両神庁舎・おもてなし課☎79-1100

地域おこし企業人

石塚からのひとこと

「訪れて良し」の観光地づくりは「住んで良し」のまちづくり

11月に近畿日本ツーリスト首都圏熊谷支店の主催で、2件の「小鹿野発見」と題したツアーを実施しました。

【田舎体験ツアー】

県民の日の11月14日に、親子19名様にご参加いただきました。関越道の事故渋滞で到着が2時間遅れ残念でしたが、長留の秩父ふるさと村でのカレー作り、山羊のエサやり等の体験後、里山ウォークのガイドさん3名のご案内で「四季の道」を散策しました。

この里山ウォークは、団体客のみならずグループや個人客にも喜んでいただける内容だと思います。また、住民の方が里山の良さ、保全の大切さを再認識していただく



きっかけにもなると思いました。

【歌舞伎・郷土芸能祭見学ツアー】

11月17日に28名様のご参加で、小鹿野文化センターでの鑑賞をお楽しみいただきました。お客様のアンケートをいくつかご紹介します。

- 埼玉に民俗文化財として歌舞伎があると初めて知り、町で守り続けていることに感動しました。(30代女性)
- 土地の人々が子どもから老人まで伝統を引き継いでいる姿に拍手です。(70代女性)
- 昔から引き継がれた歌舞伎を未来に引き継いでいって欲しいです。(60代女性)

これからも町の貴重な伝統文化価値を観光客(=他の地域)に広く理解していただく機会をつくりたいと思っています。

観光というと『人が来てお金を落として』というイメージだけが先行しがちですが、良い町づくりが観光客を呼び、『訪れて良し、住んで良し』となり、観光交流の推進が移住促進にもつながるのではないかと、小鹿野町で仕事を始めてから感じています。

地域おこし企業人 石塚 浩哉